

クマ出没警報

今年は山の木の実が大凶作のため、熊の出没件数が増加しました。農作物被害があった場所、人的被害の恐れがある場所に罠を設置し、過去最多79頭の熊を有害捕獲しております。

熊対策は、「遭遇しないための事前対策」と「万が一遭遇した場合の対処法」に分けられます。事前対策としては、生ごみや果樹の管理徹底、音を立てて熊に自分の存在を知らせることなどが挙げられます。遭遇した場合は、走って逃げずに落ち着いてゆっくり後退し、静かに話しかけたり、体を大きく見せたりします。

1. クマと遭遇しないための対策（最重要）

クマによる被害を防ぐためには、まずクマに出会わないようにすることが最も重要です。

- * 音を出す： 鈴、笛、ラジオなど音の出るものを身につけ、人間の存在をクマに知らせます。クマは本来、人間を恐れているため、先に気づけば自ら避けてくれます。風が強い日や沢沿いなど音が届きにくい場所では、時々声を出したり手を叩いたりするのも効果的です。
- * 単独行動を避ける： できるだけ2人以上で行動しましょう。複数人でいる方がクマが近づきにくくなります。
- * クマの活動時間帯を避ける： 早朝や夕方はクマの活動が活発になる時間帯なので、可能な限りその時間帯の行動は避けます。
- * 匂いに注意する： クマは嗅覚が非常に優れています。生ゴミや食べ物の残り、匂いの強いものは適切に管理し、屋外に放置しないようにしましょう。
- * 痕跡に注意する： クマのウンチや足跡、食べ跡などを見つけたら、それ以上奥に進まず引き返しましょう。

2. 万が一遭遇した場合の対処法

- * 慌てない、走らない： クマと遭遇しても、大声を出したり、背中を見せて走って逃げたりするのは絶対にいけません。クマは逃げるものを追いかける習性があるため、刺激すると追ってきます。
- * ゆっくりと静かに後退する： クマから目を離さず、向き合ったまま、慌てずにゆっくりと静かに後ずさりして距離を取ります。
- * 子グマには近づかない： 子グマを見つけたら、近くに必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために非常に攻撃的になるため、すぐにその場を離れてください。

しかし、万全な対策はありません。クマによって性格が違います。山や森はクマの生活場所であることを忘れずに、十分注意して行動しましょう。